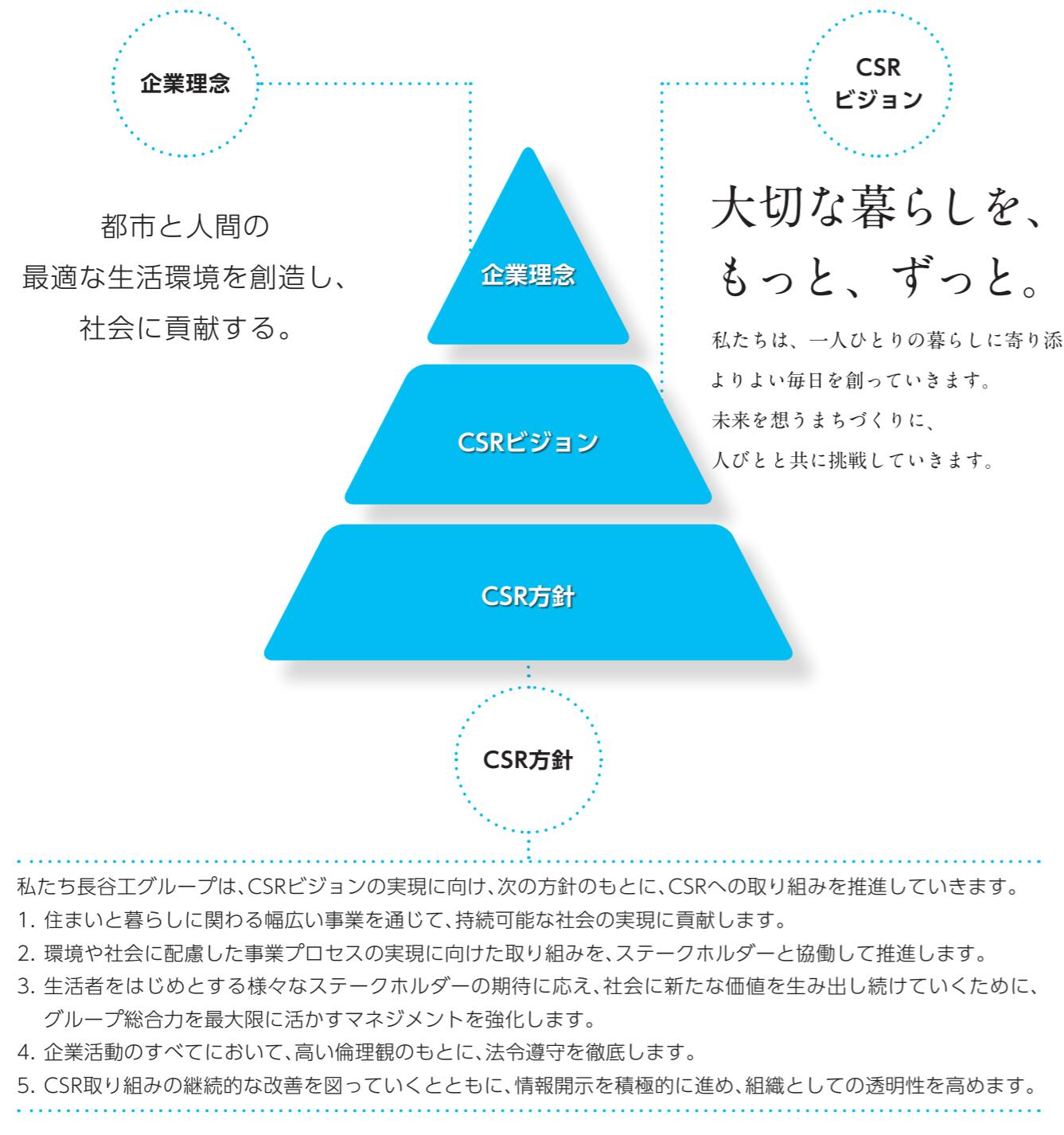


長谷工グループのCSRマネジメント

私たち長谷工グループは、長期的な視点に立ち、暮らしを取り巻く社会課題を、事業を通じて解決していくことを目指しています。住まいと暮らしの創造企業グループとして、企業理念の実現に向け、CSRビジョンのもとCSR活動を推進し、持続可能な社会に貢献していきます。



人・組織と連携力

生活者視点

住まいと暮らしの技術・ノウハウ

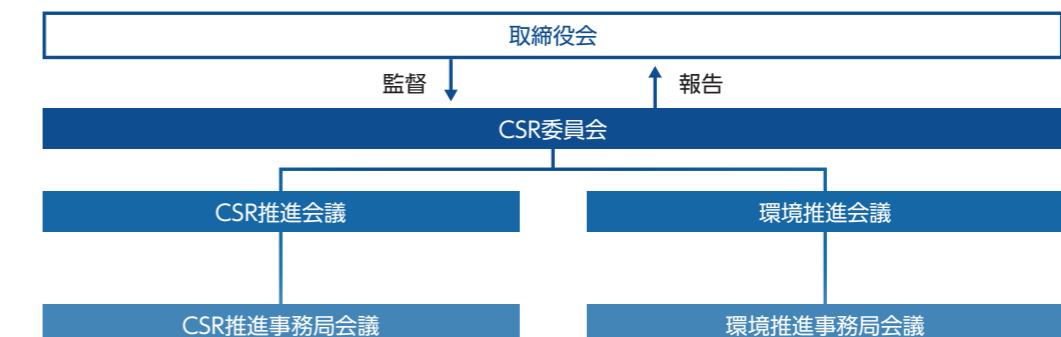
CSRマネジメント体制

長谷工グループではCSRを重要な経営課題と位置付けており、マネジメント体制の運用を通じてCSR活動の組織的な進捗を図っています。

長谷工コーポレーション社長が委員長となる「CSR委員会」で決定した内容は、「CSR推進会議」「CSR推進事務局会議」を通じてグループ全体の戦略として落とし込まれる仕組みとなっており、会議体メンバーを中心としてグループ全体でのCSR活動の進捗・浸透に取り組んでいます。

また、2022年3月期から新たに取締役会による監督体制を設け定期的に報告することとし、「CSR委員会」の下部組織として、「CSR推進会議」「CSR推進事務局会議」に加え、脱炭素やエネルギー・環境技術などの環境施策に対応する「環境推進会議」「環境推進事務局会議」を設置しました。CSR活動と連動し、経営戦略として環境課題への取り組みをより強力に進めていきます。

マネジメント体制図



長谷工グループCSR行動計画

CSR経営を実践するための具体的な取り組みとして、「長谷工グループCSR行動計画」を定め、進捗を図っています。CSR行動計画は、「4つのCSR取り組みテーマ」を基本構造としており、テーマごとに定めた「2037年(創業100周年)ありたい姿」に向かっていくための取り組み項目と、その達成度合いを測る指標(KPI:重要評価指標)で構成しています。行動計画には、長谷工グループ全体の事業活動を盛り込んでおり、年度ごとに見直し・改善を行っています。

2020年2月に中期経営計画(NS計画)が策定され、CSRと経営方針の連動をより一層図るため、行動計画の見直しを行いました。

▶2020年度の目標および実績は、P20、21で報告します。

CSR経営の確立に向けて —中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan」

長谷工グループは、「住まいと暮らしの創造企業グループ」としての更なる飛躍を目指して、2020年2月、長谷工グループ長期ビジョン～2030年3月期に目指す姿～と、その実現に向けた中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan (NS計画)」を策定しました。

重点戦略として「CSR経営への取り組み」を掲げ、企業経営との更なる連動を図ることで、長谷工グループの持続的成長を目指していきます。

住まいと暮らしの創造企業グループにおける更なる飛躍を果たすべく、以下の取り組みを進めていきます。

重点戦略6. CSR経営への取り組み

- ① 事業を通じた課題解決によって「社会価値の創造」と「グループの成長」を両立させ、企業価値向上を実現
- ② 長期的な成長を図るうえで重要なESG要素と当社グループの強みをCSR取り組みテーマに取り纏め、CSRの目指す姿として推進

4つのCSR取り組みテーマ

長谷工グループのCSRの目指す姿である「4つのCSR取り組みテーマ」の実現に向けた取り組みを推進しています。

4つのCSR取り組みテーマ	18の重点サブテーマ	関連するSDGs	ESG
住んでいたい 空間	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心・快適 多様なライフスタイル コミュニティ 暮らしの環境配慮 		E/S
働いていたい 場所	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人々の活躍 労働環境・安全衛生 人材育成・技術継承 サプライチェーン 		S
大切にしたい 風景	<ul style="list-style-type: none"> 資源循環 エネルギー・CO₂ 汚染予防・周辺環境配慮 サプライチェーン 		E
信頼される 組織風土	<ul style="list-style-type: none"> 企業倫理・法令遵守 人権尊重 情報開示・対話の強化 CSR教育・啓発 社会貢献活動推進 グループ総合力強化 		G



事業と関連性の深い社会課題とSDGs

SDGs(国連の持続可能な開発目標)の17目標のうち、長谷工グループの事業と関わりの深い10目標を特定しています。長谷工グループの事業は世界の社会・環境課題と密接な関わりがあることを認識し、事業を通じた課題解決によって、社会価値の創造と長谷工グループの成長を両立させていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



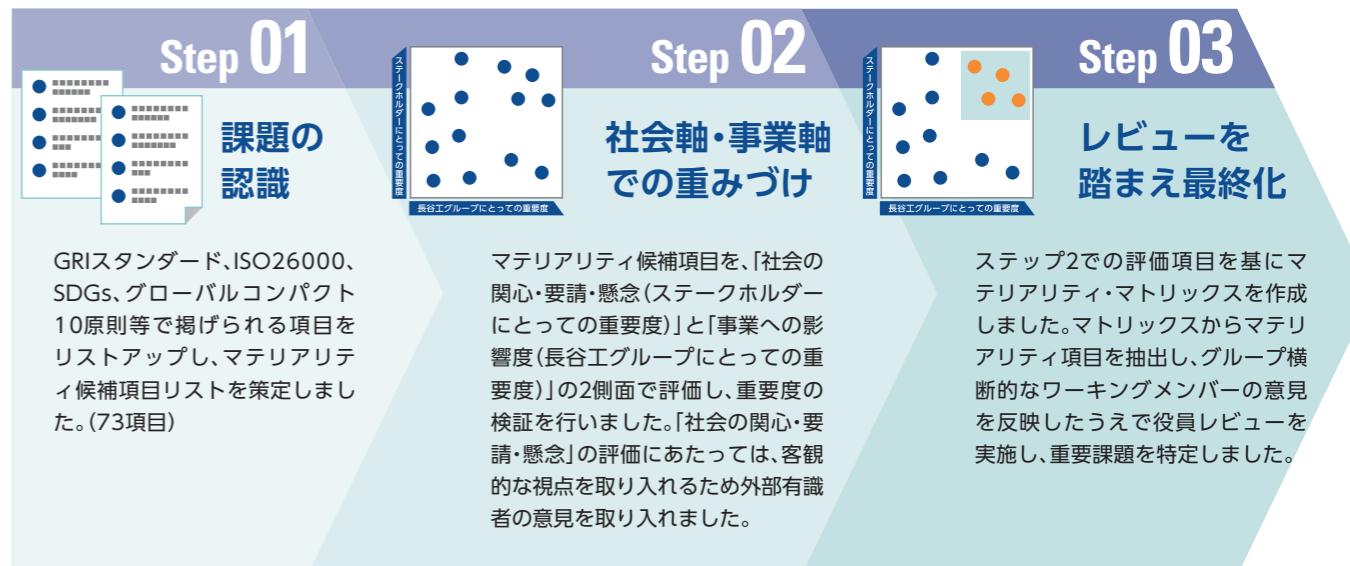
暮らしを取り巻く社会課題領域

気候変動対応 生態系保全 安全・安心
防災・災害対応 地域活性化
人口動態変化・高齢化社会への対応
ダイバーシティ推進 女性活躍
健康・医療・介護 職業教育・雇用機会創出
保育・子育て 持続可能な消費 資源循環

マテリアリティ

気候変動やエネルギー問題、少子高齢化、貧困・人権問題など多くの環境・社会課題が山積しており、企業が課題解決に果たす責任は大きくなっています。長谷工グループでは、2017年に優先的に取り組むべき課題をマテリアリティとして特定し、CSRを推進する上での指針としています。マテリアリティの内容については、2020年2月に中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan」がスタートしたことを機に見直しを行いました。見直しにあたっては、中期経営計画、社会情勢、外部有識者の意見などを踏まえて事業軸・社会軸の視点で検討し、役員レビューにより2021年3月に決定、同年4月より運用しています。今後も、経営方針・社会情勢との整合性の観点から適宜見直しを行っていきます。

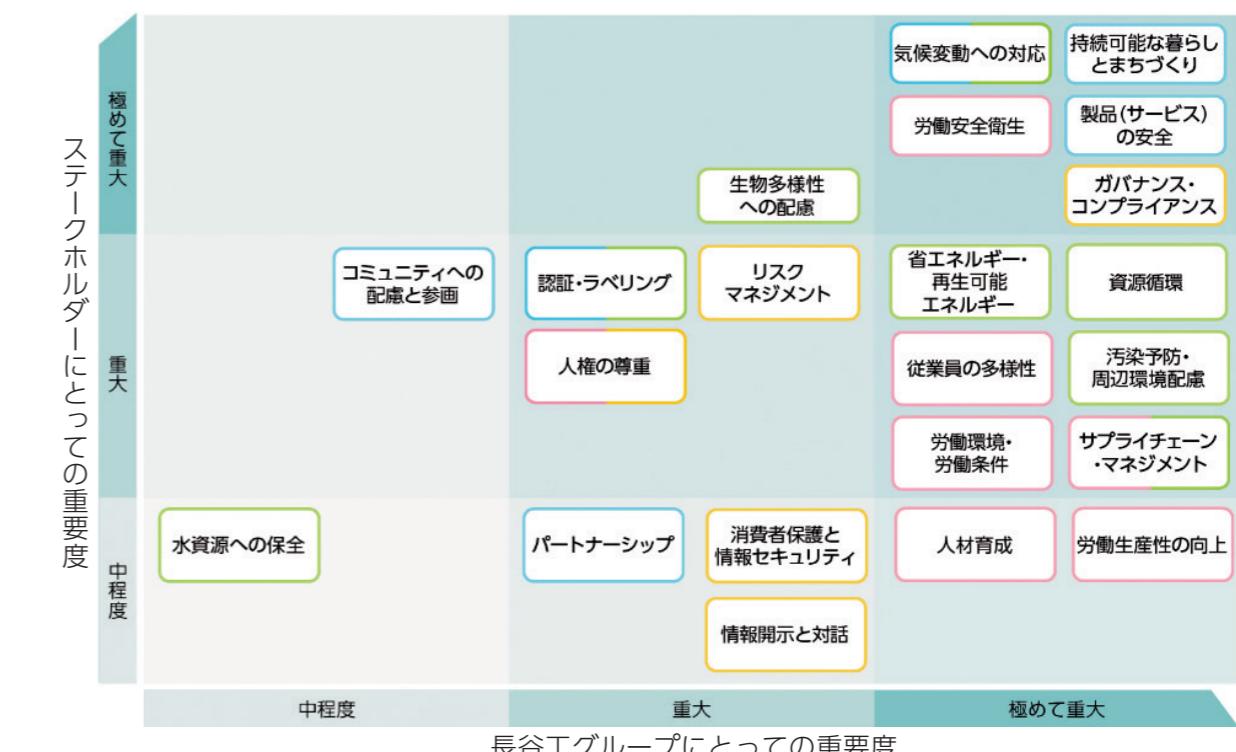
マテリアリティの特定プロセス



長谷工グループのマテリアリティ

特定したマテリアリティは、4つのCSR取り組みテーマの要素としてすべて盛り込んでいます。

■住んでいたい空間 ■働いていたい場所 ■大切にしたい風景 ■信頼される組織風土



2020年度長谷工グループCSR行動計画

4つのCSR取り組みテーマ	18の重点サブテーマ	創業100周年(2037年)ありたい姿	2020-2024年度長谷工グループの取り組み項目	指標(KPI)/目標数値	実績	
住んでいたい空間 様々ななひとが安心して暮らし、成長し、それぞれのスタイルで生き活きと過ごす空間をつくっていきます。保育、教育、介護、福祉など、暮らしの質を上げていくための事業を推進するとともに、さらなる安全・安心と環境配慮を暮らしのスタンダードとしています。	安全・安心・快適	安全・安心・快適な建物とサービスの供給を徹底して追求し、長寿命な住まいを提供している	①品質の維持・向上	・ISO9001外部審査指摘件数ゼロ ・長谷工アリバーアーバン採用戸数 ・技術開発件数	0件 8,113戸(累計92,324戸) 2件完了,7件継続中	
			②マンション再生事業の推進	・マンション建替え・長寿命化相談件数	65件	
			③再開発事業の推進	・マンション再生に関するセミナー開催回数	コロナ禍により開催せず	
			④ICTを活用した防犯・見守りシステムの導入	・取り組み件数 ・BIM&LIM(住まい情報と暮らし情報)プラットフォームの確立に向けた検証継続	6件 検証継続 (Feel I Residence)	
			⑤緊急時24時間対応できる仕組みの継続	・アール24センター警報受信件数、対応率100%	54,961件,100%	
	2 災害に強い暮らしとまちづくりに貢献している		⑥マンションにおけるハード・ソフトの災害対策推進	・災害に強いマンション提案仕様 採用100% ・災害対策技術開発件数 (地震・免震・制振・耐震・台風等) ・グループ管理物件・施設被災状況確認訓練実施率	100% 2件継続中 100%	
			⑦新たな住まいと暮らしの価値を提供し、子どもからシニアまで多様なライフスタイルを支えている	・社会ニーズに応える建物・サービスの提供 ・DX実現化に向けた取り組み ・超高齢社会に対応する高齢者施設・住宅・介護サービスの開発・提供等	事業主提案実施 5件 5件 1件 2件	
	多様なライフスタイル	保育、教育、介護、福祉をはじめ、暮らしに関わる様々なサービスへ容易にアクセスできるまちづくりに貢献している	⑧住宅を核とした複合開発の推進	・取り組み件数	2件継続中	
			⑨地方活性化を推進している	・展開エリア数 ・事業推進件数	5エリア 4件	
			⑩地域コミュニティ形成に貢献している	・地域やマンション住民同士の交流によるコミュニティ形成の仕掛けづくり	コロナ禍により開催せず コロナ禍により開催せず	
			⑪住まいと暮らしの環境技術をリードする企業になってい	・集合ZEH事業採択件数 ・環境負荷低減技術開発件数 【長谷工コーポレーション】ISO14001目標に基づく削減 ・CO2削減率10%以上(設計) ・環境配慮設計採用率	3件 2件完了,4件継続中 東:12.5%西:11.2% 東:98.0%西:98.7%	
			⑫働き方改革の推進	・MOS活動の推進 ・テレワークの推進(在宅勤務等)	計画通り実施 継続実施	
働いていたい場所 多様な人びとが活躍する、安全で生産性の高い職場をつくりたいです。住まいと暮らしに関わる技術とノウハウを備えた人材が、熱意溢れるチームワークの広がる職場で、協力会社とともに今と未来のまちづくりに挑戦していきます。	多様な人びとの活躍	多様な個性・価値観を認め合い、すべての社員がやりがいを持って、自分らしく活躍できる環境が整っている	⑬女性管理職登用の促進	女性管理職比率9.0%未取得	29.7%	
			⑭様々な職場での女性の登用と活躍支援	・えるばし認定取得 ・女性社員比率30%以上 【長谷工コーポレーション】 ・新卒採用における女性比率30%	28.0%	
			⑮育児・介護関連の支援制度の拡充と推進	・くるみん認定取得 【長谷工コーポレーション】 ・配偶者出産休暇取得率80% ・育児休業取得率(男性)20% ・子ども休暇取得率(男性)50%	未取得 42.5% 6.8% 40.6%	
			⑯障がい者と共に働く職場の実現	・障がい者雇用率2.2% (2020/6/1時点)	1.99%	
			⑰シニア人材の活躍に向けた支援	・60歳研修継続実施 ・定年再活用者数	8月実施 189名	
	労働環境・安全衛生		⑱外国人社員が活躍できる職場環境・インフラの整備と推進	・体制整備	継続中	
	9 すべての職場で安全で衛生的な労働環境を実現している	⑲安全衛生管理体制の徹底	・中央安全衛生委員会の開催 ・死亡・重大事故灾害ゼロ 【長谷工コーポレーション】 ・労働災害率0.60以下 ・労働災害強度率0.01以下	年1回開催 0件 0.52 0.01		
		⑳労働環境の整備	・コロナ対策継続推進	継続推進		
	10 社員一人ひとりの心身の健康づくりを支援している	㉑健康経営の実践	・グループ健康経営推進委員会の開催 ・健康経営優良法人の認定取得	年1回開催 認定取得		
		㉒従業員の心身の健康増進	・健康診断受診率100% ・特定保健指導実施率15% ・ストレスチェック受検率100%	99.8% 26.3% 97.2%		
		11 業務効率化・生産性向上につながる先進技術をリードしている		㉓DX(デジタルトランスフォーメーション)推進による労働生産性向上	・業務改善施策件数	7施策稼働中
	12 未来の住まいと暮らしに関わる人材を育成する多様な教育を実施している	㉔自律的に成長・進化・挑戦し続ける人材・組織づくり	【長谷工コーポレーション】 ・自己学習支援「長谷工ビジネスカレッジ」受講人数	2,052名		
		㉕技術・スキルの継承	・外部とのコミュニケーション強化 ・イベント等による啓蒙	1,153名(累計10,534名) 2件,682名		
		14 サプライチェーン		㉖協力会社とともに安全で生産性の高い職場を実現している	・協力会社との連携を強化・継続推進 ・パリューアップ活動報告会/各協力会社組織総会の開催	開催
				㉗協力会社におけるリスク対策	・開発テーマ数 ・総会にて啓蒙活動を実施	25件 実施(年1回開催)

4つのCSR取り組みテーマ	18の重点サブテーマ	創業100周年(2037年)ありたい姿	2020-2024年度長谷工グループの取り組み項目	指標(KPI)/目標数値	実績
大切にしたい風景 住まいをつくり、暮らしのサービスを提供するプロセスの環境配慮を徹底して実践していく姿勢。	資源循環	15 全ての事業活動において、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を徹底して実践している	①環境マネジメントシステムの継続的管理・改善	・ISO14001外部審査指摘件数ゼロ	0件
			②建設廃棄物の削減を促進	・外部表彰受賞件数 【長谷工コーポレーション】 ISO14001環境目標に基づく削減 ・混合廃棄物6kg/m ² 以下 ・混合廃棄物のリサイクル率77%	1件 東:5.3kg/m ² 西:3.6kg/m ² 東:82.3%西:83.1%
			③オフィス・建設作業所における3R拡大	【長谷工コーポレーション】 ISO14001環境目標に基づく削減 ・文房具グリーン購入率90%	東:90.9%西:90.0%
			④環境マネジメントシステムの継続的管理・改善	・ISO14001外部審査指摘件数ゼロ	0件
			⑤施工段階におけるCO ₂ の削減	【長谷工コーポレーション】 ISO14001環境目標に基づく削減 ・CO ₂ 排出量削減 発生原単位12.7t-CO ₂ /億円 ・省営費運転に関する講習会実施回数、参加人数 40回、1,506名	東:9.9t-CO ₂ /億円 西:9.0t-CO ₂ /億円 企画検討開始
	エネルギー・CO ₂	16 全ての事業活動において、高いエネルギー効率と再生可能エネルギー活用率を追求し、協力会社とともに自然を大切にする現場・職場をつくっていきます。	⑥CO ₂ 排出量削減目標の策定	・企画検討開始	企画検討開始
			⑦関連するSDGs目標	【長谷工コーポレーション】 ISO14001環境目標に基づく削減 ・電力使用量NB計画期間(2017~2019年) 度)の平均実績値以下	東:17.7%西:▲4.5%
			⑧建設作業所・オフィス等における省エネ・節電を促進	・導入件数	2件
			⑨事業活動における太陽光や再生可能エネルギーの積極活用	・生物多様性保全活動(長谷工の森林)	
			⑩活動によるCO ₂ 削減の定量化	コロナ禍により活動中止	
暮らしの環境配慮 集合住宅における木材活用において先進的な取り組みを推進している	汚染予防・周辺環境配慮	17 集合住宅における木材活用	⑪集合住宅への木材活用	・建物主要構造部における木造活用採用件数	4件
			⑫環境法規制等の遵守	・土壤、水質、粉塵等重大な汚染発生ゼロ(2020年度)	0件
			⑬生物多様性への配慮	・外部表彰受賞件数(ABINCA認証含む)	6件
			⑭建設現場近隣住民への配慮	・パリューアップ活動にて啓蒙実施 【長谷工リフォーム】 ・低振動・低騒音工具の採用(各部半期1件)	実施 100%
			⑮周辺環境配慮技術の開発	・技術開発件数	1件継続中
	サプライチェーン	19 サプライチェーン全体の環境負荷低減を実現する基盤を確立している	⑯サプライチェーン全体での環境意識向上	・協力会社CSR教育実施	実施
			⑰CSR調達を実現している	・CSR調達方針の検討・策定	検討実施
			⑱CSR調達方針の検討・策定	・CSR調達方針の検討・策定	検討実施
			⑲サプライチェーン全体での環境意識向上	・協力会社CSR教育実施	実施
			⑳CSR調達実施	・協力会社CSR教育実施	実施
信頼される組織風土 ステークホルダーから信頼され、ともに価値を生み出すグループであり続けるために、組織として果たすべき取り組みを着実に実践していく。また、グループの総合力を活かすマネジメントを強化し、住まいと暮らしの新たな社会・環境課題を的確にとらえ、事業を通じた社会貢献領域を常に開拓していく。	企業倫理・法令遵守	21 品格のある会社として企業倫理・法令遵守が徹底されている	①環境・社会リスクを含めたリスクマネジメントの強化	・リスク統括委員会開催 ・BCP継続運用(震災対応・感染症対策含む)	4回 継続運用
			②コンプライアンスの徹底	・内部監査カバー率 ・コンプライアンスに関する講演会受講率	97.9% 実施なし 9回開催
			③ガバナンス体制の強化	・コンプライアンス委員会開催 ・eラーニング受講率100% ・取締役会の実効性評価アンケートの実施	100% 実施
			④人権尊重	・人権方針の策定と人権デューデリジェンスの整備 ・ハラスメントの撲滅に向けた教育・仕組みの強化	人権方針策定 検討実施
			⑤情報開示・対話の強化	・ステークホルダーとの対話の実施 ・ステークホルダーとの課題認識や期待に応える情報開示を行っている	計177回実施 実施
	CSR教育・啓発	23 多様なステークホルダーから得た情報を活かし、CSR経営を実現している	①ステークホルダーとの対話の実施	・株主・機関投資家・アナリスト等とのコミュニケーション活動 ・イベント実施	計177回実施 実施
			②ステークホルダーに對し積極的な情報開示を行っている	・Webサイトの適時更新 ・報告書の定期発行 ・ESG情報開示に対する外部評価向上	随時更新実施 発行 向上
			③一人ひとりの社員の所属や階層に必要なCSR教育が実施され、CSR経営がなされている	・CSRに関する講演会受講率、受講者数 ・CSRに関するeラーニング受講率100%	コロナ対策により実施なし 99.1%
			④地域の社会課題解決モデルを広く社会に提示している	・イベント実施	実施
			⑤社会貢献活動を推進	・社会貢献活動参加人数 ・社会貢献活動方針策定	704名 継続
社会貢献活動推進 お客さまの声を大切にし、事業に活かす優れた仕組みを持つている	26 災害発生時の暮らしの復旧を支援している	27 災害支援体制と方針の検討・確立	⑥明治村における地域活性化への貢献	・イベント実施	実施
			⑦社会貢献活動を推進	・社会貢献活動参加人数 ・社会貢献活動方針策定	704名 継続
			⑧お客様の声を大切にし、事業に活かす優れた仕組みを持つている	・災害支援体制と方針の検討・確立	—
			⑨お客様満足度向上を目指した取り組み推進	・グループコールセンターや移動販売車の稼働 ・プランシエラクラブ会員数	5社稼働 253,357人